

2008 年度

科目名 日本史概説 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 藤澤 典彦
授業テーマ 葬送・墓制を通してみる日本の歴史（原始～古代）		
授業の概要と目標 歴史とはある視点からの人間の営みの解釈であり、その視点は個々人において異なる。どのような現象であっても、その背景に各時代の政治・社会・文化がみえるはずなのである。歴史をあれこれと総花的にみるのではなく一つの現象を一貫してみると、そこに歴史の流れを読みとることができる。葬送・墓制という文化的営みを通して政治・社会を考え、原始から古代終わりまでの歴史の流れをみる。		
評価方法 期末のテスト or レポート、出席によって評価する。		
テキスト 使用しない（講義毎に資料を配付する）	著者	出版社
参考書 その都度紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 人間の生と死 2. 葬送・墓制の始まり 3. 縄文時代の墓制 4. 弥生時代の墓制 5. 古墳時代の墓制① 6. 古墳時代の墓制② 7. 後期古墳の諸問題 8. 古墳から寺へ 9. 仏教と火葬 10. 古代の蔵骨器 11. 墓碑と墓誌 12. 火葬を執行した人々 13. 都市と墓所 14. 浄土教と葬送 15. まとめ		